

閉会中の委員会調査報告

総務文教常任委員会 8月6日

平成24年度町税の課税状況について

Q 当初予算に対する前年度比較額は2億2582万6千円の減であった。

A 23年度徴収率の数値が伸びている。取り組みについて何う。

A 県の徴収機構と一緒に取り組んでいる成果が出てきている。差し押さえや公売の手法が以前より容易になったこと、加えて徴収嘱託員の増員によって滞納者の実態や財産状況が見えやすくなったこと等が挙げられると思う。

湯沢高原スキー場の整備状況について

リフト改修行程表から第一トリプルリフトについて、手続き等進行中であり、完了日も12月20日頃までに外工も含め全て終わる事になっている。ポプスレリフト(やまびこペアリフト)の行程で進んでいる。基礎工事については地質調査が一部完了。

現在スキー場のコース敷地用地として8事業者(ガール湯沢・神立高原・岩原・湯沢パーク・ルーデンス・二俣田代・ナス・パ加山)に貸し付けている。

加山スキー場はH24年度より面積変更。

湯沢町スキー場振興協議会よりスキー場用地借地料減額要望書の対応について。

減額要望書の対応について。

減額要望書の対応について。

減額要望書の対応について。

H23年4月より2年間30%の減額を実施している。要望は減額期間終了後も同様の処置の継続の申し出である。状況を見極めながら考えていきたい。

神立スキー場は進展が見られない。6,7月分は現在未納。

加山スキー場は廃業した中で構造物下の土地の面積のみ貸付。

Q 減額要望書への対応は湯沢高原の貸付料を免除している現状を考慮して他スキー場へも対応するのが当然と考えるが。

A 町営の施設と民間の施設の違いは、はっきりしておくべきと考えている。

Q 神立スキー場は心配していたような状況だが、今後もしーズンだけ借地料を払うての営業をさせるのか。

A ……

厚生福祉常任委員会 8月6日

1 介護保険事業の進捗状況について

説明要旨

第5期介護保険事業計画に基づくこの事業がどのように進捗しているのかについての報告をもらった。

要介護認定者数、要介護度別サービス利用者数、施設および介護専用居住系サービス利用者数等が報告され、事業計画が想定した範囲内で利用が進んでいる事が報告された。

Q 平成26年度に「ゆの里園」に特養が30床増設されることだが、今現在の待機者はいるのか。

A 大崎に「雪つばきの里」ができてそこに他の施設から移った人もいるので、施設全体に余裕ができてきた。

Q 30床増設に伴うヘルパーの増員計画はあるのか。

A 増員計画を立てるのは町ではなく南魚福祉会だが、要員の配置基準が決まっているので、それにそった増員は行なわれるだろう。

Q 30床は全て個室なのか。

A そうだ。多床室は国の援助が出ないので、作るの難しい。

Q 療養型施設の17人は全て湯沢病院か。湯沢病院の4階には空ベットがまだたくさんあるようだ。3ヶ月で病院を変えなければならぬ事で不自由をしている人が沢山いるが、改善できないのか。

A 問題だと感じている。検討してみた。

2 国保一部負担金免除について

説明要旨

これについての要綱をつくり湯沢でも実施すべきだという要求が議会からもなされていたが、この度南魚沼市との協議がまとまり要綱を作ることができた。南魚沼市とは医療圏が同じなので、同じ対応をしないと混乱が生ずるためである。

Q 第6条の「減免の期間は1年につき3ヶ月以内の期間とする」とはどういう意味か。

A 3ヶ月を過ぎたら再度

申請手続きをする必要があるという意味である。

3 肺炎球菌予防ワクチンについて

説明要旨

後期高齢者医療の対象者には、肺炎球菌予防接種に対する補助をする事を定めた実施要綱を作った事の報告である。助成費用は3000円である。不足分は自己負担である。

Q 肺炎球菌とはどのような病気か。

A 普通の肺炎と考えてもらっていい。高齢者がかかる肺炎はたいていこれであり、ここから死亡に至る事が多い。

Q 75歳に達しない人が接種を希望するときは？

A 湯沢病院では5500円をふたんすればやってもらえる。ただし医師の指示が必要である。